

**第24期第2回日本学術会議植物保護科学分科会（平成30年度第2回植物保護科学連合運営委員会との合同会議）議事要旨**

日時：平成30年9月25日（月）9:30 11:00

場所：日本植物防疫協会地下会議室（東京都北区中里2-28-10）

**出席者**

植物保護科学分科会：松本・青野・上田・嶋田・西澤・水口

植物保護科学連合：鈴木・石賀（植物病理）矢野・神村（応動昆）夏目（農薬）

渡邊・小荒井（雑草）岡田（植化調）

**審議事項**

- （1）前回議事録等の確認について **【資料1】**  
（i）平成29年12月2日に開催された、日本学術会議農学委員会 第24期・第1回植物保護分科会（日本植物保護科学連合運営委員会との合同会議）の議事要旨の内容が確認され、承認された。  
（ii）平成30年度第1回植物保護科学連合運営委員会議事録の内容が確認され、一部修正の上、承認された。
- （2）平成30年度学術会議公開シンポジウムについて **【資料2】**  
平成30年度学術会議シンポジウム「植物保護科学のSDGsへの貢献」開催に向けた今後の準備手順が確認された。また、座長等を決定した。
- （3）学術の大型研究計画の募集について **【資料3】**  
マスタープラン2020への応募について、松本委員長より、植物保護科学連合が中心となって応募内容をまとめたいという提案があり、今後、原案づくりを進めることになった。10月5日までに、5学会各1名ずつ検討委員を決め、松本委員長に連絡することになった。
- （4）分科会からの意思（提言）の発出について **【資料4】**  
松本委員長より、当分科会から、2020年を目処に提言を発出したいという提案があり、12月1日開催予定の分科会において検討委員を選出することになった。提言内容については、これまでの学術会議シンポジウムの内容を参考に、SDGsと関係したものとする、発出方法は提言に限らず報告も検討する、等の意見が出された。
- （5）日本学術会議活動報告および分科会と植物保護科学連合の連携について **【資料5】**  
資料に基づき、報告された。

以上